

平和への一步は
私達が戦争について知り
語り継ぐこと
経験していなくても
考えてみることに

荒木美羽

12歳



だれもが望んでいないことが
止められないなんていやだ

有馬 佑介

44歳



戦争はまだ終わっていない。
私たちも、
平和のために
戦っていかなければいけない
人たちのだから。

五十嵐 愛心

14歳



銃よりも、
自分から相手に優しさを
差し出したい

伊藤誠一郎

13
歳



一つの正義で壊れる
たくさんの幸せ

今井聡美

12歳



ただ一つ
感情さえも
モノクロ世界
笑顔をうばう
失った

岩崎 朱里



原爆を忘れないことが、
二度と戦争を侵さないための
バトンとなる

大坂創時

11歳



私たちの日常は
今崩れるかもしれない
今日の幸せが
明日も続けばいいのに
戦争は地球を壊していく

大谷 絃羽

12歳



核兵器をもっていないと
安心できない国は
本当に平和な国なのか

小見佳乃子

15歳



戦争のために
人の未来をうばうな！

加藤

10
歳



過去の過ちを忘れないために、
心に刻む
『平和』という2字の言葉。

金本有未

12歳



一つの爆撃で
たくさんの命が奪われるなら、
一つの行動で
たくさんの命を救えるはずだ。

木田 心菜

12歳



戦争を起こしても
いいことがあると思っ
ている
大人を
ほうっ
ていいのか。

久嶋 錬

11歳



色褪せ、踏まれ、汚されぬよう
みんなですり紡いでゆこう、
戦後に咲いた大きな花の輪を

栗田 琉聖

14歳



見たいのは
原爆の光よりも
希望の光と輝く笑顔。

桑山優大

12
歳



黒い雨に涙を流したあなたの瞳に、
この青空を映したい。
私たちは、
この澄んだ青を守ると誓う。
第二のあなたをうみたくないから。

小島 ちゆき

15歳

誰かが変えようとしなければ、
未来は変わらない。
その未来を変えていくのは、
自分たちだ。

小谷 蓮悟

12歳



あの日、
間違いなくそこにあった
命の火を
本当に消してしまうのは、
忘れるということ

坂本知子



平和とは、
皆で違いを認め合い
言葉で架け橋つくり
無限の未来を共に描くこと。

佐久間 瑞希

13 歳



明日を原爆の日にしてはいけない

佐藤 梓

15 歳



どれほどひどかったか、
どれほど苦しかったか、
ぼく達は心に刻みます。

菅谷 瑞生

13
歳



人の命が奪われたあの日のこと
涙も流せなかった
永遠に語りつぐ
戦争の恐ろしさ

鈴木 日輝里

11歳



自分の大切な人が死んだら
みんな悲しむのに、
どうして
誰かの大切な人を
殺そうとするの？

須田 惺

14歳



知らなければ伝えられない、
一番大切なのは
知ろうとすること。

惣万宇祥

12歳



何十万人の国民をぎせいに
して
勝った戦争はうれしいか

高野 蒼乃

12歳



今の自分にも
大切な人がいるように、
あの人にも、
忘れられない
大切な人がいたんです

高野 友里

12
歳



花が枯れた、
まちが枯れた、
命が枯れた、
育てた平和を
また枯らしているのか。

出浦 知三

13歳



信じたい、笑顔の明日。
誰にだって、できることがある。
消えてゆく傷跡と辛さとともに、
消えてほしくない声がある。
今、私たちでつなごう。
平和のリレーを。

仲彩乃

11歳



あの日原爆が
落とされていなかったら
君は今この世界に
いたかもしれない。

長谷 杏珠

12歳



言葉に表せないほどの
苦しみ、悲しみ。
これが本当に
戦争が終わったときの
「平和」なのだろうか。

松島 福乃

11
歳



80年、
これは「昔の話」ではない
いつもどこかに潜んでいる

右田 芽生

14歳



何気ないいつもの生活は
「平和」ということ
「幸せ」ということ

山岸 柊介

13
歳



少しずつ伝えてつながら
それはきつと
未来への大きな希望になる

山岸希実

12歳



命の重さは違いますか
平和な国と戦争の国
日本人と外国の人
そしてあなたとわたし

山下ますみ



たぐさんの大切な命を
消してしまふのは
原爆でなく、人間だ。

吉野真由

11
歳



日本と世界がもつ過去の記憶を
決して無くしてはならない。
80年前のあの日、
どれだけの命が犠牲になったか。
日本はどれだけのことを
世界にしたのか。
考えて伝えて変えよう、
これからの未来を。

吉村 美穂

12歳

原爆を作るのは「人」
原爆を止めるのも「人」

與田桂太郎

13
歳



「8月6日」 「8月9日」
これ見て胸が苦しくなる子育てを
できているだろうか。

匿名

28
歳



八月の空に
二度と悲しみの雲をうかばせない

匿名



原爆で形が変わった鍵
もう自分の家は開けられない
ドアも見つからない

匿名



今日が
原爆の日になるかもって
考えたことある？

匿名

15
歳



まだ話したかっただろう
ずっと一緒にいる家族と
まだ遊びたかっただろう
あの友達と
まだ学びたかっただろう
あの学校で
まだ生きたかっただろう
この地球で

匿名

たとえ書いた字が
小さかったり掠れていたりしても
必ず誰かに届く。
それが本当の言葉なら。

匿名



明日を待っているのは
子供の笑い声か、
銃声に沈む泣き声か。

匿名

13
歳



忘れないでいよう。

一瞬だった。

多くの命、生きる希望が奪われた。

それはあってはならないこと。

繰り返してはならないこと。

繰り返すべきものは

「当たり前前の日常」だ。

匿名

13歳

この世から
無くしておくれAIよ
核も戦も悲しみも

匿名

58
歳

